

脳波を用いた人間の状態推定と製品に対する感性評価

キーワード[脳波、事象関連電位、状態推定、感性評価]

准教授 深見 忠典

図1.
脳年齢
の推定

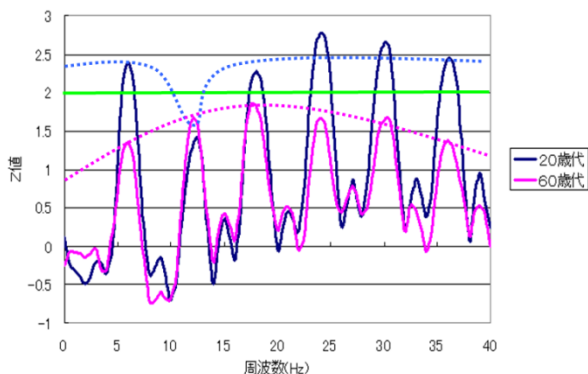


図2.
覚醒／傾眠
の評価

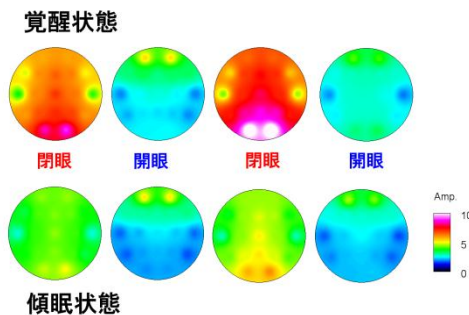
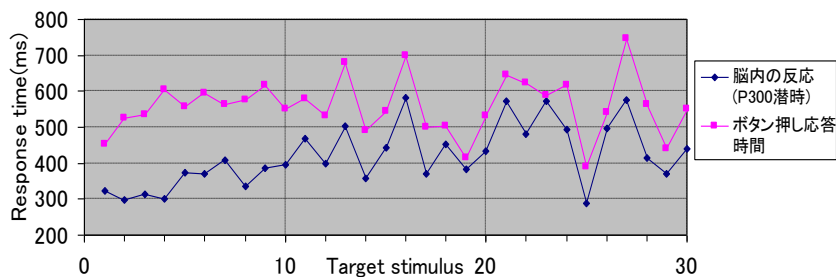


図3. 脳内認知に至るまでの時間推定



内容:

我々の研究室では、脳波信号をコンピュータを用いて解析することで老化に伴う脳波の変化(図1)や覚醒／傾眠といった人間の状態に対する脳波の変化(図2)について研究を行っています。

また、事象関連電位と呼ばれる外部からの感覚刺激(視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚)に対して発生する脳波反応についても解析しております。計測された脳波から、人間の注意や判断・認知に関連するとされる成分を抽出する(図3)ことで、脳内における刺激に対する反応(評価)を数値化できます。これを製品に対する感性評価に応用し、見た目や肌触り、さらには匂いや味といった個人の主観による判断を定量的に評価する研究も進めております。

所属: 情報科学
専門: 生体情報処理、医用画像処理、
データ統計解析

E-mail: fukami@yz.yamagata-u.ac.jp
TEL&FAX: 0238-26-3370
HP: <http://eieweb.yz.yamagata-u.ac.jp/~fukami>

